

地域猫活動について

地域猫活動は、「猫を助けたい方」と「猫に困っている方」が、飼主のいない猫に関する問題を地域の共通課題として捉え、お互いの歩み寄りにより地域住民の間で合意し、長期的な視点で地域から飼主のいない猫を減らしていくことを目的としています。

野良猫の問題を解決するには、地域の「猫を助けたい方」と「猫に困っている方」とが互いに「餌やり以外の管理もする」「排除せず見守る」といった歩み寄りの気持ちを持って、長期的な視点で解決を目指すことが求められます。

地域住民の合意のもと、その地域にお住まいの活動を行おうとする住民(活動団体)が主体となって去勢不妊手術や一定のルールに基づいた餌やり、トイレの管理などを行うことにより、猫による生活環境被害を軽減しつつ、猫に一代かぎりの生を全うさせ、数年かけて地域から野良猫を減らしていく環境美化のための取り組みです。



地域猫活動の進め方

①地域での話し合い

- ・地域住民、町会・自治会の役員などで問題点を確認し、解決に向けた取り組みについて話し合います。

②活動の計画作り

- ・猫の個体数把握
- ・餌やり(場所・時間・担当など)
- ・トイレ(場所・時間・担当など)
- ・役割分担



③去勢不妊手術

- ・動物病院で去勢不妊手術と、耳カット(さくら耳)をしてもらいます。

④餌・トイレの管理

- ・毎日、定時に給餌します。食事後、すぐに餌の残りや容器は片付けます。
- ・決められた場所に猫のトイレを設置します。トイレは毎日清掃し、砂などを入替えます。

⑤その後の管理

- ・定期的に活動内容を地域住民に報告します。
- ・捨て猫の防止を徹底します。



猫に関わる皆さんへのお願い

猫を飼っている方へ

外の世界は危険がいっぱいです。

感染症や病気にかかる危険が増えるほか、交通事故で命を落とす可能性もあります。

また、去勢不妊手術をしていない猫を外に出すことで、外猫との間に子猫を増やすことにもつながります。

飼主として責任と愛情をもって、適切に飼育しましょう。

- 室内で飼いましょう
- 去勢不妊手術をしましょう
- マイクロチップを装着させましょう
- 絶対に捨てないでください
- 最後まで責任をもって飼いましょう



令和4年6月から、ペットへのマイクロチップの装着が努力義務となりました。マイクロチップを装着後、飼主の情報を登録することで、迷子になった猫を飼主の元へ帰すことができます。

猫に餌を与えている方へ

個人で野良猫にエサを与えている方も、地域猫活動にならって、次のことを守り、近隣住民とのトラブルが発生しないよう心がけましょう。

- ご近所の理解を得ましょう
- 去勢不妊手術をしましょう
- 餌の食べ残しはすぐに片づけましょう
- 餌場のすぐ近くにトイレを置いてあげましょう
- 周辺環境の美化に努めましょう



去勢不妊手術のメリット

繁殖制限には、猫にとってさまざまなメリットがあります。

○オス

- ・ケンカによるケガの防止
- ・スプレーやマーキングの抑制
- ・性感染症など病気の予防
- ・尿の臭いの軽減

○メス

- ・発情がなくなり、鳴き声を抑制
- ・妊娠などの身体的ストレスから解放

猫の侵入防止策

自宅の敷地内は、自身で猫が入ってこないよう対策をとることが原則です。敷地内に猫が入ってくると困る方は、次のような侵入防止策をとってみましょう。

- 超音波発生器(近隣住民の迷惑にならないよう十分注意してください)
- 物理的な侵入防止(柵、障害物の設置など)
- 匂いで防ぐ(竹炭、コーヒーかすなど)

これらの他にも方法はあります。

猫との根競べでもありますので、いろいろ試してみてください。

